

令和3年度決算について

I 一般会計決算概要

令和3年度一般会計の決算額は、歳入決算額 90,112,176 千円から歳出決算額 84,615,809 千円を差し引いた形式収支額は 5,496,367 千円で、令和4年度への繰越財源 537,280 千円を差し引いた実質収支額は 4,959,087 千円となった。

前年度との比較では、歳入決算額は 14,801,192 千円の減、歳出決算額は 16,261,136 千円の減となっており、形式収支額は 1,459,945 千円の増、実質収支額は 1,739,700 千円の増となった。

○一般会計決算収支の状況

(単位：千円)

年度	歳入決算額 ①	歳出決算額 ②	形式収支額 ①－②＝③	翌年度へ繰越 すべき財源④	実質収支額 ③－④＝⑤
R3	90,112,176	84,615,809	5,496,367	537,280	4,959,087
R2	104,913,368	100,876,945	4,036,423	817,036	3,219,387
比較	▲14,801,192	▲16,261,136	1,459,944	▲279,756	1,739,700

II 歳入決算概要

令和3年度歳入決算額は、前年度比▲14,801,192 千円減（▲14.1%減）の 90,112,176 千円となった。主な内容は、次のとおりである。

(1) 市税

新型コロナの影響による市民税個人分の減のほか、固定資産税が評価替えの影響等により減となるなど、総額で前年度比▲465,305 千円減（▲1.6%減）の 28,483,379 千円となった。

(2) 地方交付税

普通交付税において、前年度と比べて、基準財政需要額は増となったが、基準財政収入額は減となった。そのため、財源不足額が増加したことなどから交付額としては、前年度比 1,956,357 千円増（21.3%増）の 11,140,552 千円となった。

(3) 国庫支出金

子育て世帯などへの臨時特別給付金が増となったが、特別定額給付金給付事業費補助金や新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の減などにより、前年度比▲17,259,337 千円減（▲42.4%減）の 23,457,941 千円となった。

(4) 市債

臨時財政対策債などの増があったが、複合型子育て支援施設整備事業債の減などにより、前年度比▲543,417千円減（▲7.5%減）の6,741,011千円となった。

Ⅲ 歳出決算概要

令和3年度歳出決算額は、前年度比▲16,261,136千円減（▲16.1%減）の84,615,809千円となった。主な内容は、次のとおりである。

(1) 総務費

衆議院議員等の選挙事務や基金積立金の増があったが、特別定額給付金給付事業の減などにより、前年度比▲20,836,673千円減（▲64.6%減）の11,412,188千円となった。

(2) 民生費

複合型子育て支援施設整備事業などが減となったが、子育て世帯等臨時特別支援事業や住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金給付事業の増などにより、前年度比5,272,404千円増（15.1%増）の40,095,493千円となった。

(3) 衛生費

環境衛生事業などが減となったが、新型コロナウイルスワクチン接種事業の増などにより、前年度比1,610,605千円増（22.2%増）の8,876,749千円となった。

(4) 商工費

プレミアム付電子食事券発行事業などの増があったが、ビジネスサポート応援給付金支給事業の減などにより、前年度比▲441,853千円減（▲29.7%減）の1,044,091千円となった。

(5) 土木費

中央通り線整備事業などが増となったが、河川施設長寿命化修繕事業の減などにより、前年度比▲307,840千円減（▲4.5%減）の6,479,280千円となった。

(6) 教育費

小学校の校舎トイレ改修事業や特別教室エアコン整備事業が増となったが、小・中学校の情報教育推進事業の減などにより、前年度比▲1,122,341千円減（▲14.5%減）の6,641,777千円となった。

(7) 公債費

償還元金の減により、前年度比▲201,046千円減（▲2.8%減）の7,068,026千円となった。